



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「まちづくりの仕事ガイドブック まちの未来をつくる63の働き方」
饗庭伸・小泉瑛一・山崎亮 編著 (学芸出版社)



今号のおすすめ
ライブラリー
こちら!



まちづくりの仕事ってなにがあるの?まず一般的には、行政の部署やNPO法人そしてディベロッパーなど思い浮かべると思います。

この本は、まちづくりの広がりの中で生まれてきた63の仕事を5つのカテゴリー「コミュニティとともにプロジェクトを起す」「まちの設計・デザイン」「土地・建物を動かすビジネス」「まちづくりを支える調査・計画」「制度と支援の仕組みをつくる」に分け、実際にその仕事をされている方を紹介しています。

これだけの職種があると、関係ないと思っている方でも「まちづくりに関わる仕事ができるかもしれない」と思わせる盛りだくさんな内容。本の構成として面白いのが各ページの欄外にある執筆者の略歴や「ある一日の流れ」という各人のスケジュール。そして、その人が仕事に対して感じる「働き方満足度」、「収入満足度」、「生活満足度」の5つ星評価。執筆者をより身近に感じられ、関わっている仕事に興味湧いてきます。

あとがきには「進路に悩み、まちづくりに関わるにはどうしたらいいか迷っている人がいたら本書を見取り図に一歩を踏み出してほしい」とのメッセージが。まちづくりの仕事に携わりたいが何をしたらいいかわからないという方。この本をキッカケに、たくさんあるまちづくりの仕事の中から気になる仕事を見つけてみてはいかがでしょうか。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

渋川市 都市計画課 萩原 稜将



萩原 稜将さん(上段右から2番目)



講座の様子

読者の皆さん、こんにちは。平成29年7月に群馬県まちづくりファシリテーターの認定を受けました渋川市都市計画課の萩原です。

私が「魅力あるまちづくりのパートナーネットワーク講座」を受講した平成28年度は、渋川市役所に新採用で入庁した年でした。入庁当初、私は意見交換の場でリーダーシップを取ることに苦手意識を持っていました。そのため、会議を円滑に進めるための調整役である「ファシリテーター」としての手法を学ぶ当講座に興味を持ち、参加させていただきました。

講座を通し、会議の参加者を自分が引くレールの上うまく乗せようと躍起になっても会議は円滑に進まないということ、また、会議を実りのあるものにするためには、自分が出しゃばらず、参加者が意見を出しやすい、楽しい雰囲気を作り出すことが重要だということに気づきました。他の受講者の方とのつながりもでき、充実した6日間となりました。

当市がまちづくりを進めていくうえで、今後、地域住民の方々との意見交換が重要となる場面が多くなってくると思います。その時にファシリテーターとして力を発揮できるよう、当講座で学んだことを日常から実践していきたいと思ひます。

マーチィの掲示板

国土交通大学校に行きました!!

皆さん、はじめまして。群馬県都市計画課まちづくり室企画推進係の寺戸です。

私は2018年1月15日から1月26日までの12日間、東京都小平市にある国土交通大学校で行われた「区画整理研修」を受講してきました。

区画整理研修では、区画整理に関する法律や税制といった事務的な講義から換地計画実習といった実務的な講義まで、数多くの講義を受講することができ、土地区画整理事業の一連の流れを学ぶことができたと思ひます。

また、講義以外にも、班で行うゼミナール課題があります。ゼミナール課題は、実際に現地に赴き、設定した地区内を歩いて、自分たちの目で問題点を発見し、その地区の課題を整理した上で、基本構想を検討するというものでした。基本構想の検討では様々な視点からその地区について検討しなければなりません。班のメンバーは日本各地から参加しており、年代も立場も多様なため、様々な意見が集まり、とても濃い検討ができたと思ひます。(本当はもっと時間が欲しかった・・・)

加えて、日本各地から参加者がいるため、この研修を通して多くの人とつながりを持つことができました。

今後は、今回の研修で得たものを県内の土地区画整理事業に生かせるように精一杯頑張っていきたいと思ひます。



ゼミナールの様子



現地視察

